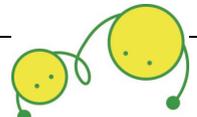


国際交流だより

Vol.95_2025年2月1日発行/聖マリア学院大学 地域・国際連携センター国際連携部門



Go to the people, Walk with the people

人々のなかに行き、人々と共に歩む

ASEACCU Conference2024 参加報告書

看護学部3年 草場穂乃心・安松彩菜

私たちは、2024年8月20日～23日、オーストラリアカトリック大学（シドニー）で開催された ASEACCU Conference 2024 に参加しました。今回のテーマは“*What Makes Catholic University Catholic?*”（カトリック大学をカトリックたらしめるものとは何か？）でした。本レポートでは、参加を通じて得た学びや体験についてそれぞれ紹介します！！



オーストラリアカトリック大学が開催する ASEACCU 国際会議に出席をし、会議テーマ“*What makes a Catholic University Catholic? Expressing and Integrating Identity and Mission*”のもと、講演会やワークショップが行われ、キリスト教大学が我々にもたらす影響を、様々な意見交流を通し考えました。様々な奉仕活動を行う中で、すべての人へ愛の精神を差し出すというような考え



方を持ち、教育の現場においてもキリスト教の考えを行動すること
は、大きな意味があることを学びました。さらに、活動や体験での交流を通し、多くの刺激を受け有意義な時間を過ごすことが出来ました。国外に視野を広げ交流を行うということは、自分の殻を破り、本来の自分を見つめ直す時間であると私は考えています。もちろん、国内で仲の良い友達と楽しい時間を過ごすこともとても大切で輝かしい日々です。しかし、新しい出会い、体験、価値観や文化に触れることで、自分さえも知らなかった自己の新たな一面を見つけ、また国外の学生との交流をする中でその学生の持つ価値観の上で生まれた考えに触れることで、さらに興味深く心躍る貴重な時間を過ごすことが出来るのではないのでしょうか。今回の経験は、これからの私たちが生きていくうえでの学びの一部にもなった経験でした。非常に貴重な経験をさせていただきましたこと、心から感謝を申し上げます。
(草場穂乃心)

3日間のプログラムでは、学生同士の交流や講義、各国の先生方による研究発表、異文化体験など、多くの貴重な



経験を得ることができました。講義では、カトリック大学の社会的な役割について学び、「倫理的な心を持ち、人間性を尊重すること」の重要性が強調されていました。看護学生として、困っている人々に平等に寄り添う姿勢の大切さを改めて実感しました。特に印象的だったことは、アジア



アやオセアニアから集まった様々な学生との交流です。バスでの移動や食事、プログラム後の自由時間を通して、互いの国や文化、専攻、趣味などについて語り合うことで互いの違いを知り理解を深めることができました。

また、参加するすべての学生が学びに対して高い意欲を持ち、夢や目標に向かって自主的に努力する姿に大いに刺激を受けました。

このプログラムを通して、多様性を尊重し、異文化を理解することの重要性を改めて認識しました。これらの貴重な経験と出会いに感謝し、今後も看護学生として倫理観や人間性を重視し、多文化共生の視点を持ちながら学びを深めていきたいと考えています。

ASEACCU2025の開催国は台湾です。国際的な視野を広げたい方や異文化交流に関心のある方にとって、本プログラムは非常に有意義な機会です。このプログラムに参加して、誰よりも濃密な夏を過ごしてみませんか？気になる方はぜひ挑戦してみてください！

(安松彩菜)



ASEACCUは、東南アジアと東アジア地域のカトリック大学の集まりです。年に1回、メンバー校の学生による国際会議が開かれます。2025年は台湾・台中市の静宜大学(Providence University)がホスト校です。国際会議の詳細が発表されたら、officeグループメールでお知らせします。お楽しみに！(キリ文研)